

# 緑化だより

No.19 平成19年8月号



クサギ

○きのこウォッチング

○さんぽ道

○研修会・イベント報告

7/15:夏のきのこ教室

○研修会・イベント紹介

8/4:親子木工教室

8/26:ボタニカルアート教室

○花だより 秋の七草

○お知らせ・案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail [ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp](mailto:ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp)

# きのこウォッチング

**ニオイコベニタケ**…小型ですが、バラ紅色の美しいきのこです。美しい上に香りも良いのが特徴です。カブトムシに似たにおいがするという人もいますし、果物のような匂いだという人もいます。食毒不明。



ニオイコベニタケ

**キツネノハナガサ**…小型の可憐な美しいきのこですが、この美しい姿を見ることができるのは午前中の数時間のみのみで、空中湿度が低くなるとすぐに干からびてしまいます。ですから、このきのこにお目にかかることは幸運なことです。緑化センターでは時々見ることができます。食不適。



キツネノハナガサ

**チチタケ**…傷をつけると白い乳液が出ます。この乳液は渋い味がします。また、3～5%のゴム成分が含まれていますが、それからゴム製品を作ることはまだできていません。栃木県ではチダケと呼び食用として珍重されています。



チチタケ

## さんぽ道『ミニアスレ・ミニクロカンの道』

(延長 610m 所要時間 20 分)

ファミリー広場から旧アスレチック管理棟方面に進みます。藤棚の間を通り左に進み階段を下ります。この辺りは**コバノガマズミ・ミヤマガマズミ・ヒサカキ・コナラ・アラカシ・ヤブツバキ**などがあり、**アカマツ**や**ヒノキ**など高木に覆われやや薄暗いです。ミニアスレの遊具が通路内にあり、子供達がよく遊んでします。その先には、**エゴノキ**が見られ、今の時期は沢山の実がぶら下がっています。

広場に出ると右奥の道へ進みます。粘土質で滑りやすい箇所があり注意が必要です。急な階段を下り、木を打ち込んで作られた谷を渡ると**ハゼノキ・ウツギ・アラカシ**

**シ・エゴノキ**などが見られ、『スタートから300m、ゴールまで420m』の標識があります。さらに進むと、**クマノミズキ・バイカツツジ・ハイノキ・アケビ**なども見られます。

次の谷を渡り階段を上がると管理棟へ出ます。

このコースは距離が短いですが、50種類以上の樹木や様々な野鳥が見られ、ゆっくり散策できるコースです。



# 研修会・イベント報告

7月15日(日) 『夏のきのこ教室』

やっと梅雨らしい天候になった7月第2週でしたが、週末に7月としては過去最大の台風4号が接近し、研修会『夏のきのこ教室』の開催も危ぶまれましたが、32名の方が参加されて無事開催することができました。

当日までに雨がしっかり降っていたおかげで、たくさんのきのこが採集され、緑化センターで最初に確認され命名された『アキノアシナガイグチ』も採られていました。その他、食することのできるタマゴタケや毒であるテングタケ、杏の香りがするアンズタケなど合計129種類のきのこが同定されました。その中で、『イロガワリホコリタケ』

ではないかと思われるきのこが採れたようです。珍しい種類のように見えますが、ノウタケに類似しており気づきにくいようです。

参加者の中には、きのこ図鑑を抱えた5～6歳のお子さんや、講師と一緒に歩いて説明を聞きながらきのこ狩りを楽しんでいた方なども見られました。きのこはよく分からないという方でも気軽に参加していただくことのできる研修会です。

10月21日に『秋のきのこ教室』を開催します。(同日は山の日のイベントもあります)



夏のきのこ教室

## 研修会・イベント紹介

○8月4日(土)『親子木工体験教室』

10:00～12:00 学習室集合

講師:センター職員 廣瀬 健 (要予約:先着 30名)

自然の材料(幹・枝・葉など)を使って、色々なものを作ったり組み立てたりします。自然素材の温かみをお子さんと一緒に感じてみませんか。夏休みの宿題はこれでバッチリ!?

○8月26日(日)『ボタニカルアート教室』

10:00～12:00 学習室集合

講師:ボタニカルアートソサイエティ(要予約:鉛筆や消しゴム水彩道具などの画材があれば持参)

ボタニカルアートとは『植物画』のことで、植物の姿・形を正確に細密に描く植物図鑑のような画のことです。牧野富太郎博士が書かれた、『牧野日本植物図鑑』も植物画の一つです。画を書くことで新しい発見があるかもしれません。初心者の方も大丈夫です。



昨年度実施状況



植物の細密画

# 花だより

## 秋の七草

『萩が花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝顔の花』

山上憶良が万葉集でこの歌を詠んで以来、『秋の七草』は現在まで伝えられています。秋の七草はご存知だと思いますが、簡単に紹介します。

**萩**…ハギは7月初旬には紅紫色の花をつけます。

**尾花**…ススキ又はカヤのことです。

**葛花**…クズです。クズの花は蝶形で美しいものですが、やはり根です。根は漢方薬の葛根湯の材料として、また根から取れる澱粉は最上級とされ重宝されます。

**撫子**…カワラナデシコが代表種ですが、早いものは6月中旬には美しい花を咲かせます。

**女郎花**…オミナエシです。8月上旬ごろ黄色の花をつけます。

**藤袴**…フジバカマです。秋の七草の中で目にするのが最も困難です。この草を乾かしますと独特の香気(クマリン:桜餅の香気と同じ)があり古くから香草として利用されていました。

**朝顔**…この歌が詠まれた頃の日本には、現在の朝顔は無くキキョウだと言われています。

いよいよ夏本番ですが、暦の上では8月8日が立秋になります。秋の七草が見られるのはいつごろでしょうか。町の園芸店にはいろいろ珍しい草花があふれていますが、日本で古くから親しまれてきた「秋の七草」にも目を注いでほしいものです。緑化センターでは、七種全て見ることができます。



ナデシコ



オミナエシ



フジバカマ



キキョウ

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 研修会中止のお知らせ

○8月21日(火)に予定していました緑化研修会『**広島県の名水について**』は講師の都合により中止になりました。よろしくお願いたします。

### ◎ 展示会のお知らせ 展示場所…レストハウス

○**チョウ展**:7月28日(土)~8月19日(日)迄…蝶の標本を展示

○**ボタニカルアート展**:8月22日(水)~9月12日(水)迄

○**夏のバードカービング**:開催中~8月31日(金)…木彫りの鳥を展示

(レストハウス・管理事務所には様々な資料を置いていますのでご自由にお取り下さい)

### ◎ 10月21日(日)は 第6回『山の日』県民の集い

県内6箇所です。10月21日に開催されるイベントです。緑化センターでは、アカマツ林やサクラの森の整備・丸太切り体験・どんぐり教室など森や自然を育み、親しんでいただける催しです。マツタケ御飯の販売や餅まき、草花のプレゼントなども行う予定です。皆様のお越しをお待ちしております。